

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主文化事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		4 市民に親しみやすい事業を開催する					
		副目的	20-2									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	様々なジャンルの一流の演奏家・アーティストを招聘し、本格的で良質な芸術文化にふれる機会を提供することにより、市民の芸術文化への関心を高める。										
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主文化事業(20,264千円)</li> <li>市民会館、各市民センターで年間8公演程度自主事業を実施。クラシック・子ども向け・落語など様々なジャンルの公演を開催した。職員は、企画、プロモーターとの契約、PR活動、チケット販売、公演会場・ボランティアの手配・タイムスケジュールを含めたコンサート管理、来場者の対応などの運営を行った。</li> <li>①和洋楽器アンサンブル・リベルタ和太鼓奏者アート・リージョイントコンサート(味岡市民センター)②森山良子コンサートツアー(市民会館)③うたもいっばい！つくってあそびショー(市民会館)④爆笑東西落語会(北里市民センター)⑤優秀映画鑑賞推進事業(市民会館)⑥初笑い狂言会(東部市民センター)⑦中部フィル交響楽団第23回定期演奏会(市民会館)⑧小曽根真ピアノリサイタル(東部市民センター)を実施した。⑤は会館と協力しチラシ配布やチケットの印刷を行い、当日の運営は市民団体が行った。</li> <li>・舞台芸術祭(742千円)</li> <li>舞台芸術文化の振興のため、市内で活動する公募の演劇団体とミュージカル劇団の4団体の発表を合わせて舞台芸術祭として実施した。</li> <li>・自主文化事業鑑賞友の会事業(853千円)</li> <li>自主文化事業の鑑賞の機会を通して、会員相互の交流及び芸術・文化の向上に寄与することを目的とし、自主企画のコンサートを2事業及び研修会を実施した。</li> <li>・子ども夢・チャレンジ事業(997千円)</li> <li>・市民劇開催委託料(499千円)</li> <li>・消耗品費等(304千円)</li> </ul> <p>○25年度実施内容</p> <p>小牧山城築城450年事業として、こども夢・チャレンジ事業、市民劇事業を開催し小牧市をPRするとともに市民協働による事業の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主文化事業(25,708千円) ・舞台芸術祭(2,000千円)</li> <li>・自主文化事業鑑賞友の会(865千円) ・子ども夢・チャレンジ事業(3,200千円)</li> <li>・市民劇(9,500千円) ・消耗品費等(344千円)</li> </ul>										
	受益者負担	有	自主文化事業入場料		11,517,000円		自主文化事業鑑賞友の会会費		268,000円			

コスト	費用			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額
		直接経費		千円	19,499	22,362	23,660	41,617
正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25		
		人件費	千円	1,332	1,332	1,332	1,332	
	その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
		人件費	千円	1,022	795	888	906	
費用合計		千円	21,853	24,489	25,880	43,855		
対前年比		%		112.0	105.6	169.4		
財源	一般財源	千円	14,193	17,972	14,095	34,500		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	7,660	6,517	11,785	9,355		

業 績	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
	公演回数	回	目標		7	7	7	8
			実績		7	7	8	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
	入場者数	人	目標		5,595	5,500	5,000	6,000
			実績		4,421	4,779	6,113	
自主文化事業への来場者の割合	%	目標		70	70	70		
		実績		55	46	62		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	一般の公演事業の入場料価格に比べ、概ね3割～4割ほど安価な入場料金設定とし、広報及び市内公共施設・スーパー等民間施設、市外文化施設を中心にチラシやフリーペーパー等によるPRを実施した。さまざまなジャンルの事業を実施し、入場者数の目標を達成することができた。				
		事業実施における課題	入場者数の目標は達成したものの公演内容によって集客に偏りがあるため、将来的な民間委託も視野に入れながら高い集客力を図るための調査・研究が必要である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	市内施設において、気軽に一流の演奏家やアーティストによる文化芸術館賞の機会を提供できなくなり、文化芸術の振興に支障をきたす恐れがある。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	小牧山城築城450年に因んで小牧山を中心に親子ラリーや伝承あそび、市内施設を利用してえほん原画展や演劇等子ども向けの事業を実施する。また、市民が小牧の歴史を理解し誇りに思えるように公募市民や文化団体等の出演を呼びかけ、楽しくわかりやすくより一層興味が持てるように市民劇を実施し、観光と文化のまちづくりを推進する。				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	文化芸術の分野は多岐に亘るので、市民ニーズを反映させるために市民と協働して継続して実施する。なお、自主文化事業の実施には専門的な知識が必要となるため、さらなる人材育成が必要であり、専門家を導入するなどの工夫が必要である。					
	26年度以降の改善案	事業費(コスト)と受益者負担のバランスを再検討するとともに来場者の増加を図るため、より要望の多い事業内容の選択と実施事業に対する支持層を考慮した効率的・効果的な周知方法を検討する必要がある。自主文化事業の選択・企画・開催について市民協働による実施を進め、さらなる文化芸術活動の促進を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。企画段階から市民が参加できる手法も取り入れるなど、市民協働を進めること。また、将来的な民間委託等を視野に入れ、受け皿となる団体の育成を検討すること。講座開催事業については、本年度、全庁的に経営分析を実施するので、その結果を基に改善に取り組むこと。